

BRONZE SERIES

6TH Generation

BRONZE W10

取扱説明書



はじめに

この度は Monitor Audio / Bronze W10 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本取扱説明書には、本機設置や操作について重要な情報が含まれています。本説明書をお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用の上、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

付属品

箱から商品を取り出して、中身を確認してください。欠品がありましたら、直ちにお買い上げいただいた販売店に連絡してください。

電源ケーブル用 + 2P/3P変換プラグ	12V Triggerケーブル
脚部用先端キャップ × 4	取扱説明書（本紙）
スピーカーグリル（本体取付済）	保証書

開梱時の注意



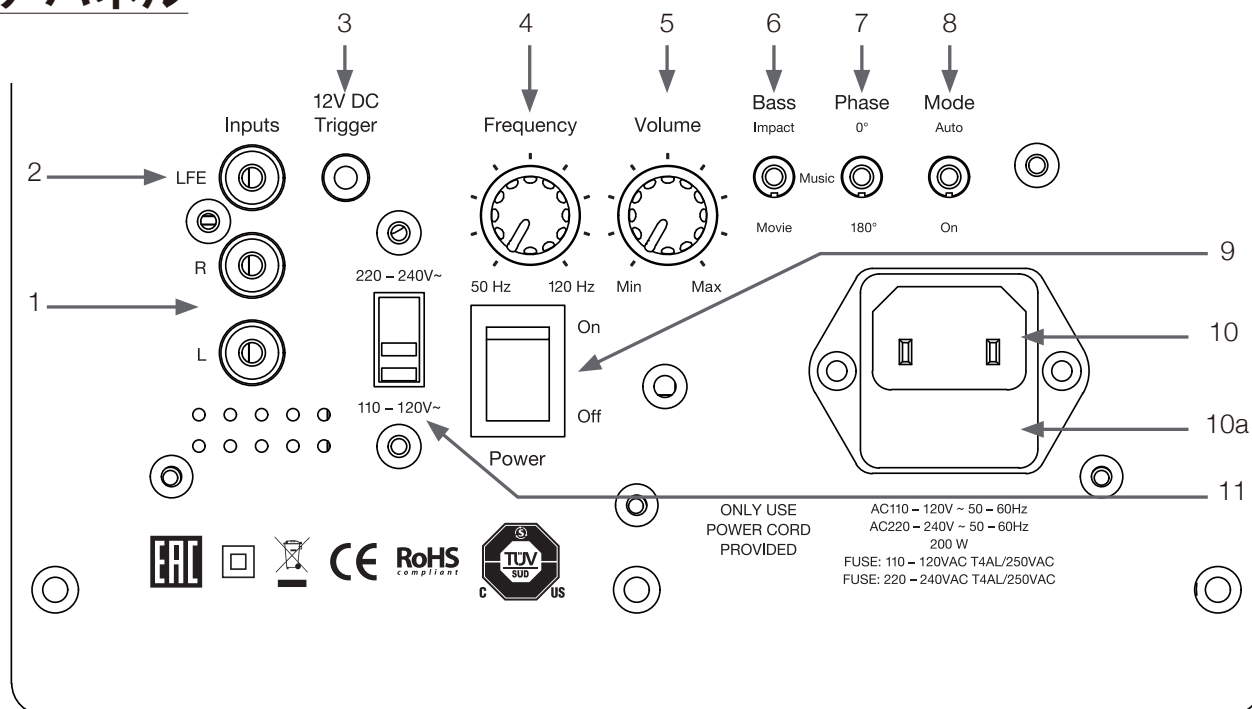
持ち運びや組み立ての際は、ユニット部分に触れることがないように注意して下さい。
開梱や持ち運びは、2人以上で行うことをお勧めします。

- 外箱から本機を取り出す際は、毛布などの保護材を床に敷いて下さい。
- 本機の重量は約13.4kgです。持ち上げる際はひざを曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行って下さい。
- 開梱の手順は以下の通りです。
 - ・始めに外箱の天面を切り開きます。上部に付属品（電源ケーブル、ネジ付脚部）が入っています。
 - ・付属品を取り出した後、箱を慎重に上下逆さにします（箱の底面に"Open Other End"と印刷されています）。
 - ・外箱を徐々に上に引き上げ、本機を取り出します。この時点で本機の底面が上方を向いています。
 - ・内装のテープを外し、本機を取り出して下さい。

組み立て

本体底面の脚部×4の先端に、設置の際、床へのキズ・破損を防ぐために先端用キャップをお好みで取り付けます。

リアパネル



1. 2chステレオ入力 (RCA)

2chステレオアンプのプリアウトを接続します。※10m以下のインターコネクトケーブルを推奨します。この接続では4.Frequency (クロスオーバー周波数) を設定する必要があります。始めはクロスオーバーのダイヤルを80Hz前後に設定し、調整することをお勧めします。

※2chステレオ入力とLFE入力が同時接続されている場合、常に同時に出力されます。

2. LFE入力 (RCA)

AV アンプ / レシーバーの LFE (サブウーファー ch 出力) を接続します。LFE 入力を接続する場合、本機のクロスオーバー周波数調整機能は無効になります。AV アンプ / レシーバー側でクロスオーバー周波数を調整します。

※2ch ステレオ入力と LFE 入力が同時接続されている場合、常に同時に出力されます。

3. 12V Trigger入力端子

本機と 12V Trigger 出力を持つ AV アンプ / レシーバー等と接続し、電源 On/ スタンバイモード切替を接続した機器側で連動して行うための端子です。AV アンプ / レシーバーと本機を 12V Trigger ケーブルで接続してください (別売)。12V Trigger ケーブルを接続する時は、パワーモード切替スイッチを **Auto** に設定してください。

※詳細は P5 「Auto Stand-by/Auto On 機能」 をご参照ください。

4. Frequency (クロスオーバー周波数) 調整

クロスオーバー周波数を設定します。2chステレオ入力 (RCA) 接続時のみ有効です。本機と組み合わせるスピーカーに応じて調整してください。Bronze-6Gシリーズをお使いの場合は、50~100Hzの値を推奨します。設置位置や、スピーカーによってお好みで調整します。

5. ボリュームコントロール

ボリュームを調節します。音のバランス調整を行う際は、よく聴き慣れた音楽やお好みの映画を再生すると確認しやすくなります。最小限の音量で再生し始め、徐々にボリュームを上げて調整してください。

6. BASSスイッチ

低音域のレスポンスを [Music, Movie, Impact] の3種類から選択できます。

- Movie: 映画 (AV アンプ接続) 推奨。35Hz まで比較的フラットな特性になります。
- Music: 音楽 (2ch ステレオアンプ接続) 推奨。Movie モードより、-2dB 出力が下がりますが、低域は 30Hz まで伸びます。
- Impact: 強力なインパクトが得られます。Movie モードより+3dB 出力が上がり、低域は 40Hz まで緩やかに伸びます。

7. Phase (位相) コントロールスイッチ

フェイズ (位相) 0° または 180° で設定します。サブウーハー (本機) とメインスピーカー / サテライトスピーカーなどと位相の遅れを同期させるように、リスニングポジションに座って調整してください。ほとんどの場合、0° に設定します。

8. パワーモード切替スイッチ

パワーモードのOn/Autoの切り替えを行います。

On : 主電源がONの時、本機は常に駆動 (アクティブ) 状態になっています。

Auto : 電源 On/ スタンバイモード切替を、本機と接続した機器側で連動して行う際に設定します。接続した機器でスタンバイモード→電源 On 切替操作を行うと、自動的に本機もスタンバイモード→電源 On 状態になります。※詳細は P5 「Auto Stand-by/Auto On 機能」をご参照ください。

9. 主電源スイッチ

本体主電源のOn/Offを行います。長時間使用しない場合はOffにしてください。



リアパネルにある主電源スイッチが操作できるよう、十分な隙間が確保できる位置に設置してください。

10. IEC電源コネクタ

IEC電源コード差込口。全ての機器の接続を終えてから、付属の電源ケーブルを接続してください。



すべての配線が完了するまで本機の電源ケーブルを抜いておいてください。

11. 電源電圧スイッチ

電源電圧の切替スイッチです。**注意!!決して触れないようにしてください。**

設置・接続



本機の電源が入っている時に、インターコネクトケーブル（RCA入力）・電源ケーブルを絶対に抜き差ししないでください。

サブウーハーは、最適な位置に配置する必要があります。重低音の不要な振動の原因となるため、部屋の隅への設置は避けることをお勧めします。希望の位置に配置した後、ケーブルが引っ張られず、十分な長さであるかを確認してください。干渉を避けるため、インターコネクトケーブルの長さは10m未満を推奨します。

本機を設置後、パワーモード切替スイッチを「On」にし、12V Trigger ケーブルを抜いた状態にします。接続する機器と本機をインターコネクトケーブル（RCA）を用いて接続します。

●AV アンプ/レシーバーとの接続

AV アンプ/レシーバーの出力（LFE 出力）と本機の LFE 入力をインターコネクトケーブル（RCA）で接続します。

●ステレオアンプとの接続

2ch ステレオアンプのプリアウト出力（RCA）と本機の 2ch ステレオ入力（RCA）をインターコネクトケーブル（RCA）で接続します。

本機と接続機器をインターコネクトケーブルで接続後、電源ケーブルを接続し、主電源をオンにします。

セットアップ

AVアンプ/レシーバーの場合

多くの AV アンプには自動セットアップシステムが装備されています。ご使用のアンプにこの機能がある場合、ボリュームを 10 時から 12 時の位置にセットし、パワーモード切替スイッチを「ON」にしてセットアップを行います。自動セットアップが完了したら、AV アンプのサブウーハー設定が正しいか確認します。音楽やテストトーンの再生を行う前にアンプの音量を絞りと、以下の通りに本機を設定してください。

- ボリュームを 10~12 時の位置に設定。
- 使用するスピーカーに応じてクロスオーバー周波数を設定 (2P 参照)。
- BASS スイッチを MOVIE に設定。
- Phase (位相) を 0° に設定。
- いつも聴いている音楽を再生し、少しずつボリュームとクロスオーバー周波数を調整し、サブウーハーと他のスピーカーシステムとの音の一体感とバランスを整えます。

ステレオアンプの場合

2ch ステレオアンプや LFE 出力のないアンプを使用する場合は、2ch ステレオ (L&R) 出力による接続を行います。アンプの 2ch ステレオ / プリアウト出力と、本機の 2ch ステレオ入力 (L&R) を 1 組のインターコネクトケーブルで接続します。音楽やテストトーンの再生を行う前にアンプの音量を絞りと、以下の通りに本機を設定してください。

- ボリュームを 10 時の位置に設定。
- 使用するスピーカーに応じてクロスオーバー周波数を設定 (2P 参照)。
- BASS スイッチを MUSIC に設定。
- Phase (位相) を 0° に設定。
- いつも聴いている音楽を再生し、少しずつボリュームとクロスオーバー周波数を調整し、サブウーハーと他のスピーカーシステムとの音の一体感とバランスを整えます。

Auto Stand-by/Auto On 機能

本機は電源 On 状態から 2ch ステレオ or LFE 入力信号が無い状態が 15 分間続くと、スタンバイモードに自動的に切り替わる **Auto Stand-by 機能**と、本機と接続した AV アンプ / レシーバー側で、スタンバイモード→電源 On を連動して行うことができる **Auto On 機能**があります。この機能を有効にするには、パワーモード切替スイッチを「**Auto**」にします。Auto On 機能は、AV アンプ / レシーバーと本機を 12V Trigger ケーブル接続した時と、未接続の時で動作が異なります。

Auto On機能

●**Signal/Auto モード (12V Trigger 未接続時)**：2ch ステレオ or LFE 入力信号が無い状態が 15 分間続くと、スタンバイモードに自動的に移行します (Auto Stand-by 機能)。その状態から信号 (AV アンプ / レシーバー側の出力信号)を感知すると、電源が On になります。

●**Trigger/Auto モード (12V Trigger 接続時)**：12V Trigger 入力端子で信号 (AV アンプ / レシーバー側の 12V Trigger [Off] 信号) を感知すると、15 秒ほど経過した後にスタンバイモードに移行します。その状態から信号 (AV アンプ / レシーバー側の 12V Trigger [On] 信号)を感知すると、電源が On になります。

※Trigger Auto モード時は、Auto Stand-by 機能は無効になります。

トラブルシューティング

●電源が入らない / スタンバイモードのまま起動しない。

- ・電源ケーブルが挿されていない
電源ケーブルがコンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。
- ・機器の接続が正しくされていない
2ch ステレオ or LFE 入力の接続は正しくされているか確認して下さい。
- ・スタンバイモードになっている
接続しているアンプの出力がされているか、ボリュームが小さ過ぎないか確認してください。12V Trigger 接続を行っている場合、接続元の機器の電源が入っているか確認してください (P5.「Auto Stand-by/Auto On 機能」参照)。

BRONZE W10

BRONZE SERIES
6TH Generation

形式	アンプ内蔵サブウーハー・密閉型
ユニット	250mm C-CAM Long throw Subwooferドライバー × 1 250mm ABR(auxiliary bass radiator) × 1
下限周波数	28 Hz
カットオフ周波数上限	50 Hz – 120 Hz可変
入力	LFE (RCA) × 1, STEREO L/R (RCA) × 1
アンプ部	Class D with high current Switch mode supply (SMPSU) / 220W
接続	12 V Trigger in (3.5 mm mono mini-jack)
消費電力	最大:300 W, スタンバイ時: <0.5 W
寸法 (脚/突起部含む)	H366 × W321 × D364 mm
重量	13.4 kg / 台
備考	位相切り替え(0°/ 180°) イコライザーモード(Music/Movie/Impact) オートスタンバイ機能(約15分)

Monitor Audioは、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。
また本製品の輸送に必要となる購入時の箱・緩衝材は、必ず保管しておいてください。

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。
詳しくは、株式会社ナスペックのHP/サポートページ (<http://naspecaudio.com/support/>) をご確認ください。
修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問い合わせください。

※修理についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。
詳しいお問い合わせは**Monitor Audio**日本輸入総代理店 株式会社ナスペックまで


NASPEC
CORPORATION

株式会社ナスペック
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西1-4-5

HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510

FAX : 058-268-7118

 0120-932-455

E-mail : support@naspecaudio.com